

茨城県建設技術公社創立50周年 を記念してタイムカプセルを開封

一般財団法人茨城県建設技術公社は、9月17日に創立50周年記念事業の一環で25年前に埋めたタイムカプセルの開封式を行いました。公社は、県・市町村の建設行政を補助する目的で昭和41年に設立され、今年50周年。タイムカプセルは、平成3年に県北支部事務所新築を記念し、50周年の年に開封することとして茨城県高萩工事事務所敷地内に埋められました。

タイムカプセル自体は、去る8月9日内部確認のために掘り起こされ、開封式当日は、当時の業務案内や職員等の記念写真、記念コインやテレホンカードなど170の品目が良好な状態で展示されました。

開封式典会場となった日立市十王町の鶉の岬カントリープラザには、公社のOBや現役職員ら43人が参集。当時を懐しむとともに、現在及びこれからの公社の姿などについて意見を交わしました。

なお、創立50周年記念式典については、12月中旬に開催する予定です。



記念碑



25年ぶりに掘り出されたタイムカプセル



OBの鯨井氏が受領者を代表して挨拶



品物展示風景